

学校だより(いしがき)

第21号 令和3年11月10日
文責 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」

～自律と共同を通して～

今回の学校だよりは、中原中学校文化発表会、故事成語⑩「塞翁が馬」、格言戦国武将編(前田利家)、佐賀と福岡の県境が入り組んでいる理由は？新聞難解語句、難読漢字、11月中旬～2月の主な行事予定について紹介します。

○中原中学校文化発表会について

10月29日(金)の③～⑤校時に文化発表会を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、合唱コンクールを切り離し、各学年事前収録した劇と展示が中心でした。

今年のテーマは、中原中の人々のいろいろな個性(My color)を生かし、いろいろな色が見られる文化発表会にしたいという願いを込め、「#My color～多種多様な世界～」でした。学芸委員や生徒会役員が全体及び各学年のお世話役として活躍してくれました。

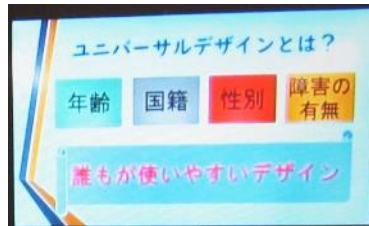
○1年生は、「それぞれの夢・それぞれの味」という演題で、奇妙なレストランで4人の中学生が人間関係の修復策について考える学年劇を披露しました。

○2年生は、「Our PICTO in Nakabalympics ～Let it be～」というテーマで、いろいろな教室のピクトグラムを考え演じるとともに、図を作成しました。

○3年生は、「ぼくらとラッシャー」という演題で、ラッシャー先生がいろいろな悩みを抱えている生徒との絆を掴むまでの青春物語を演じてくれました。

○吹奏楽部は、1、2年生部員29名で、「Dynamite」と「ディズニーメドレー」を披露しました。

○展示は、1年「モザイクアート」・2年「職業調べ」、図書委員会「しおりコンクール」、国語「書き方会入選作品」、英語「食文化やスポーツに関するレポート」、社会「都道府県レポート」、理科「自由研究」、美術「絵文字・平面構成・私の中の世界・スケッチ会作品」、家庭「掃除や調理、おもちゃ作りに関するレポート」等を体育館に展示しました。



校長講評では、文化発表会という行事を通して、本校の教育目標である「自律」(自分をコントロールする)と「共同」(自分ができることを協力する)をいろいろな場面で実践できた素晴らしい文化発表会だったという内容の話をしました。

○【お知らせ】来年度から新制服導入します

すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、県内多くの中学校で制服のセレクトフリーが導入されつつあります。本校も来年度から導入しますが、そのことを新入生保護者会で説明しました。具体的には、**ブレザーとズボン・スカート・ポロシャツ形式**を導入します。当然、女子生徒もズボンを選択できますし、スカートも普通のスカートやキュロットタイプも用意しています。

現在の制服のお譲り等も考えて、**移行期間を4～5年**と考えています。その期間は、現行の制服でも、新制服でも可としています。また、現在の1、2年生も希望があれば、来年度新制服(シャツのみでも可)を購入されても構いません。詳しくは、12月に計画しています学年懇談会の折に説明する予定です。



【漢字よみ】①ぬかたのおおきみ ②あまてらすおおみかみ ③おおむらじ ④なかつかさしょう ⑤かんれい
⑥じょういかたつ ⑦きぼね・きこつ

○格言 戦国武将編パート6（前田利家）

人間は不遇になった時、はじめて友情のなんたるかを知るものだ

前田利家は、加賀百万石の大名として、豊臣政権では五大老の中心として名を馳せる戦国武将です。しかし、実は若いころ織田信長の逆鱗にふれ、打ち首確実だったところを柴田勝家などの助命嘆願があり、一命をとりとめましたが信長軍を勤当させられ無職となってしまいます。

それまでは、織田信長の側近ということで、色々な人が寄ってきましたが、勤当されてしまったからはみんなに敬遠され、しかも生活に困ってしまう始末でした。それを助けてくれたのがご近所だった豊臣秀吉だったそうです。

○故事成語⑩ 塞翁が馬（さいおうがうま）

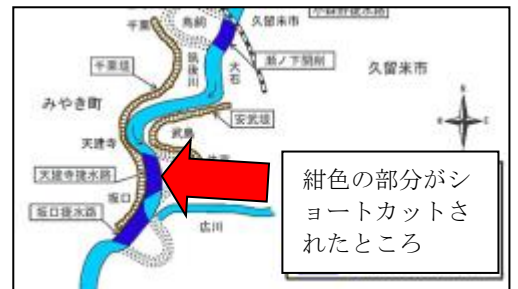
【意味】 人生の運・不運や幸・不幸は予測できないものだということ

【由来】 国境のとりで（塞 さい）の近くに住んでいた老人（翁 おう）は飼っている馬に逃げられるという不運にあったが、やがてその馬が別のりっぱな馬をつれて帰ってくるという幸運となった。ところが、今度はそのりっぱな馬に乗っていた老人の息子が馬から落ちて足の骨を折るという不運になった。人々はその不運を同情したが、やがて今度は戦争が起こり若い人はみんな兵隊に連れて行かれ、死んでしまったのに、老人の息子は骨折のおかげで戦争に行かずに助かるという幸運となった。このことから、不運が幸運になったり、幸運が不運になったりするため、人生は予測できないというこの語が出来た。 **（淮南子 えなんじ）**

○佐賀と福岡の県境が入り組んでいる理由は？

ふるさと佐賀、ふるさとみやき町に対し愛着と誇りをもってもらいたいという願いから、学校だよりで郷土のことや昔の出来事などを紹介してきました。今回は県境となっている筑後川について紹介します。

皆さんもご存知のように、筑後川は関東の利根川や四国の吉野川とともに日本三大暴れ川として有名で、昔から大水害に悩まされてきました。江戸初期に**成富兵庫茂安**は**千栗の土居（全長12kmの堤防）**を造ることで洪水を防いできました。しかし、明治時代に大水害がおこり、水の流れを改善する方策として、蛇行している河川を掘削してできる限り直線化することにしました。みやき町付近では、久留米の長門石や旧南茂安村の天建寺や坂口付近の蛇行部分（2番目の地図で矢印の部分）を**ショートカットし、直線化されました**。しかし、県境は、昔の筑後川の流れのままなので、現在の筑後川を挟んで福岡県と佐賀県が入り組んでいます。



また、筑後川河口付近（諸富の昇開橋より南側）では、大川市若津港付近に土砂などの堆積物がたまるように（水深を維持）するため、河川の中央に**デ・レーケ導流堤**を造り河口部分の川幅を狭くすることで流水スピードを上げる工夫が施されています。



※デ・レーケ導流堤は、明治政府がオランダ技師デ・レーケを招き、1890年筑後川河口に造りました。

○難読漢字（いくつ読めますか？）

- ①額田王 ②天照大神 ③大連 ④中務省 ⑤管領 ⑥上意下達 ⑦気骨

○11月中旬～2月の行事予定

※太文字は全校生徒関係分

- ・3年生1日バス研修・1,2年生合唱 11/12（金）
- ・3年生三者面談 11/16（火）～
- ・火災想定避難訓練 11/17（水）
- ・2学期末テスト 11/24（水）～26（金）
- ・スタントマンによる交通安全教室 11/30（火）
- ・1,2年生県学習状況調査 12/1（水）2（木）
- ・2学期終業式 12/24（金）
- ・3学期始業式 1/11（火）
- ・県内私立高校 推薦・前期試験 1/20（木）
- ・県内私立高校 後期試験 2/3（木）
- ・県立高校 特別選抜試験 2/8（火）
- ・1,2年生学年末テスト2/22（火）24（木）25（金）